

(様式1)

自己評価票

作成日 平成 25 年 1月 17日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900385		
法人名	社会福祉法人 聖隷会		
事業所名	グループホーム千代田の里	ユニット名	なのはなとう
所在地	〒 315-0072 茨城県かすみがうら市東野寺495-1		
自己評価作成日	平成25年1月17日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

都市化の進行と、自然豊かな環境を併せ持つ地域の中で、開設以来10年が過ぎようとしている中で、市民の皆様が存在を認識されてきております。入所者様やご家族様にも喜んでいただいております。法人傘下には特別養護老人ホームも多数あり、希望に応じてのサービスを提供出来るようになっておりますし、グループホームも多数あり、お互いに切磋琢磨しサービスの向上を目指しております。関連施設には医療法人もあり、医療に関する相談指導が何時でも受けられる体制が整っております。特に精神医療の専門医師がおり専門的な医療相談が受けられます。又隣接地には医療法人の介護老人福祉施設や保育園があります。保育園との交流や園児が園庭で過ごす姿が毎日見られますので家庭生活の延長のようであります。職員の定着率・学習意欲も高く献身的な介護に努めております。市内には数多くのグループホームが存在しておりますが、入所希望者様に気軽に立ち寄り、希望が叶えられる施設、地域の皆様選ばれる施設にして参りたいと考えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を踏まえた法人独自の理念に加えて、棟毎に介護目標を定めている。ホーム内の、誰もが見える場所に、基本理念を掲示すると共に、朝礼で復唱し共有している。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は自治会に加入している。隣接する保育園の園児との交流、小学校の運動会や文化祭、市の敬老会、地域のお祭りに参加している。ホームの行事に地域の方に参加を呼びかけたり、日曜日には道路の清掃作業を行う事により、地域の一員になれるように努めています。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入所者様や御家族様に、信頼をされ喜んで頂ける事を通して、地域の皆様にも選んで頂ける施設を目指しております。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、入所者様の代表、入所者ご家族の代表、市の職員、民生委員、学識経験者、施設職員で構成され、入所者の生活状況や行事の報告、催しごとの見学会等を通して、委員の方のご意見を戴きまして、サービスの向上に努めております。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者様には指導ご援助を頂いております。毎月のような認定調査や、オムツ等に対するご援助を頂いております。また介護相談員さんの派遣等を頂いております
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束や行動の抑制を禁止しております。玄関・サッシ等も危険と判断する場合を除き施錠せず、何時でも出入りが出来るようにしております。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に人権擁護を基本に、全職員で虐待防止に努めております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	傘下法人で、権利擁護等に関する講習会を行っております。市役所等からも情報を戴き権利擁護が守られるように対応して参ります。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に文書や口頭で説明し、納得の上で契約していただいております。又解約される時には今後のサービスの利用法などを紹介しております。家族の方が納得した介護が受けられるように協力させていただきます。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口と担当者を配置する事や、第三者委員の設置と外部苦情申し立て機関が設けられております。ご家族等の声を大切にし、併せてご意見が出せる雰囲気造りに努めます。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議や、ユニットごとの会議により、意見交換を行い、提案された意見の検討により運営に役立てて参ります。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人内や外部で開催される研修等に参加し、スキルアップに努めております。施設内においても勤務し易い職場環境づくりに努めております。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内には、研修委員会が設置されており、それぞれの段階に応じた研修を受講しております。施設内においても随時勉強会を開催し相互の研鑽に努めております。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県の地域密着型介護サービス協議会に加入し、グループホーム研究大会等への参加により、交流や意見交換を図っております。又法人内には多種の関連施設があり、研修会や情報交換の機会があります。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に施設見学会をして頂いたり、自宅や病院等の施設で本人や、ご家族等と面談をし現状や困りごと等の把握に努めております。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の気持ちを思いやり、これまでの介護の労をねぎらいながら面接に望みます。現状や困りごとを把握し、利用者様にも施設を見学して頂くことにより、不安な気持ちを取り除くようにしております。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用前の面接時に、施設の概要やサービスの内容を説明するときに、この施設でよいのか、他のサービスを受けたほうが良いのかを伺い、他のサービスを希望する場合は、他の施設等につなぐようにしています。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は日々の生活の中で、利用者の過去の生活の経験や習慣等から学ぶ事が多であります。利用者様も慶んで過去の経験などを話してくれ信頼関係が深まって参ります。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常生活状況は、里便りや、近況報告により又必要に応じては電話等で連絡をしております。面会時に起きましても近況をお伝えしております。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	面会・外出・外泊も出来るだけ自由にし、良好な関係が保たれるようにしております。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、個別なかかわりを見守り、そして支援することにより孤立化しないように努めております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後、病院等に入院・入所されても施設訪問をし、相談事があれば相談に応じるようにしております。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者や家族、関係者から利用にいたる経過を把握し、ケアプランに取り入れております。それが困難な場合は、利用者の立場になり考えております。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に事前調査をし、これまでの生活歴等から把握しています。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人らしく生活して頂く事を基本にアセスメントシートを作成し、心身の状況を記録し現状の把握に努めています。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月会議を開き、利用者・家族の意向や職員の考え方を踏まえて、現状にあった介護計画を作成しております。作成した介護計画は家族にも説明し同意を頂いております。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	アセスメントシート、ケース記録は各人ごとにファイリングしております。その他に申し送りノート作成し、情報を共有化し介護に活かしております。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その人らしく生活をしていただく事が基本です。法人傘下の事業者が多数あり、それらの支援も頂けますので、柔軟なサービスが提供出来ていると考えております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議や、介護相談委員との情報交換により、地域資源の把握に努めております。行政等との密な交流により地域資源の活用に努めております。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を聞き、継続した医療が受けられるよう支援しています。又希望に応じて歯科・眼科の訪問診療が受けられる支援体制が出来ています。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけ病院・協力病院と連携し相談をしたり、日々の健康管理に努めながら、受診や処置をして頂いております。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、日々の生活状況を説明し、入院中は様子を見に伺い、本人、家族、医療機関との話し合いのうえで対応しております。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の処し方は、家族等の意思を確認し、医療機関と共に取り組んでおります。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人において、上級救命講習会を全職員が受講し、AEDの取り扱い技能を修得しております。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の協力を得て、消火・避難訓練を実施しております。又毎月避難誘導訓練を実施しております。災害時等に地域の皆様の協力が頂ける様に消防団に協力を依頼しております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライバシーに配慮し優しく接するようしております。個人情報の取り扱いについては、個人情報に関する指針に沿って、家族の同意の下に記録等は保管しております。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が理解できるような話し方で、思いや希望が叶うように支援しております。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースで生活が出来る様、又本人がやりたい事を出来るだけやれるよう支援しております。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみが出来る様に支援しております。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は同じテーブルで、会話をしながら召し上がって頂いております。又食べこぼし等のサポートはさり気なく行っております。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立が出来ており、摂取量はアセスメントに記録しております。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後のうがいを進めております。出来ない方や不十分な方は介助にて行っております。入れ歯を使用している方は毎晩洗浄をしております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録や、アセスメントシートを活用し、個々の状況を把握し、羞恥心に配慮した声掛けや介助を行っております。オムツを利用していてもトイレ利用を促し、排泄の自立に向けた支援をしております。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分不足と運動不足にならないように配慮し、腹部マッサージなどの対応をしております。便秘が続く場合は、医師の指導による下剤の服用等個々に応じた対応に心がけております。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの体調や希望に応じた入浴の支援をしております。入浴記録票を活用し入浴拒否者への対応や、体調不良時の清拭等個別に対応しております。又入浴剤を活用し、気持ちよく入浴して頂けるように心がけております。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の馴染みのある家具などを使用して頂くなど、日常的に安定した穏やかな心身状態が保たれるような環境に配慮しております。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報は、病院から頂いた薬状書をもとにチェックしています。投薬ミスや飲みごしの無い様に細心の注意を払い対応しております。服薬後の確認は職員2名で行っております。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を基に、能力に応じた役割などで、日常生活が楽しめるようにしております。日々のクラブ活動でのカラオケ・習字・塗り絵等個々の趣味に応じた楽しみが出来る様にしております。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、散歩をするなど外気欲を行っております。季節ごとのお花見やドライブ、地域のお祭り等時節に合わせた行事に参加しております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望に応じて、一緒に買物をする事で対応しております。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人からの要請で対応しております。自ら対応できない方は、職員が代行しております。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>隣接している保育園の園庭を囲むように建物が3棟配置され、どのユニットのリビングからも園児の遊ぶ姿が見る事が出来、利用者の目を楽しませている。又花壇には季節ごとに草花が栽培されております。リビングには利用者の写真や、クラブ活動の作品が展示されています。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>日当たりが良く、園児の遊ぶ姿など外の風景が良く見えます。個室も自由に使えますし、リビングにはテレビやソファが自由に使えるように配慮されています。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者や家族と相談し、自宅で使用していた物を置くなど安心して生活出来る様にしております。その人らしい居室造りに心がけております。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホーム内はバリアフリーで、各所に手摺が設置されております。又利用者一人ひとりが自立した生活出来る様配慮しております。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている ○ 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない